



この度、第50期日墨戦略的グローバル・パートナーシップの研修生として、広島県推薦枠から参加させていただいています沖原大陸と申します。現在、比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科に在籍しており、初等教育を専攻しています。

今回参加させていただいた研修について、メキシコでの10カ月間の生活や経験したことを。本レポートを通してお伝えしていきたいと思います。

## 学校生活



メキシコに到着してから部屋探しなどを行ったあと、研修生全員でバスに乗り、研修生が通う語学学校の CEPE に行きました。UNAM というメキシコの国立自治大学のすぐ横にあり、様々な国の人たちが通っています。



中にはカフェも付いていて、たくさんの種類の食べ物や飲み物が売られています。ここでランチを食べたり、休憩したりと多くの学生達が利用しています。私はいつもコーヒーを買って飲みながら勉強したり、友達と話したりしています。

コーヒーは種類がたくさんあるのですが、大きなサイズのもの頼むと想像の倍くらいの量ができて驚きます。



授業の休み時間には UNAM に行きます。

UNAM は 1551 年に創立され、アメリカ大陸で 2 番目に古い歴史ある大学で中央キャンパスにある壁画などが、世界遺産に登録されています。その中でもこの壁画はとても有名で、学生だけでなく観光客も多く訪れます。

この建物自体は図書館で、たくさんの学生が勉強に励んでおり、私もここでよく勉強しています。

## メキシコ料理



メキシコの食べ物で外せないのはやはりタコスです。

肉や野菜などをトルティーヤの上に乗せて、その上に唐辛子が入った辛いソースをかけていただきます。

この写真のタコスはチチャロンという豚の皮を揚げたものも乗っています。辛いものが好きな私にとってメキシコ料理を食べている時がとても幸せな時間です。



こちらはメキシコの食べ物の中で、私のもう 1 つのお気に入りのトルタスです。トルタスはメキシコのサンドイッチで中にハムやチーズなど挟みたいものを選んで作ってもらいます。大きくて 1 つ 25 ペソ（約 200 円）で買えるので値段もお手頃です。

メキシコには屋台がたくさんありそこで立ち食いすることが多く、メキシコ人はとてもフレンドリーなので、食べ物だけでなく現地の人たちと仲良くなれるのも屋台の醍醐味の 1 つであると感じました。

メキシコでの生活が始まってまだ 3 週間が過ぎたところですが、毎日が刺激的でとても楽しく生活することができています。この研修生活を充実させるため様々な経験をしながら語学を学び、もっとたくさんの人たちと交流を深めていきたいと思います。